

令和3年3月31日

研究開発完了報告書

文部科学省初等中等教育局長 殿

住所 山形県山形市松波二丁目8番1号
管理機関名 山形県教育委員会
代表者名 菅 間 裕 晃

令和2年度地域との協働による高等学校教育改革推進事業に係る研究開発完了報告書を、下記により提出します。

記

1 事業の実施期間

令和2年4月20日(契約締結日)～令和3年3月31日

2 指定校名・類型

学校名 山形県立新庄北高等学校
学校長名 柿 崎 則 夫
類型 地域魅力化型

3 研究開発名 新庄・最上LINKプロジェクト

4 研究開発概要

A 地域と密着した探究型学習の推進

地域と密着した探究型学習を通して、地域課題を発見解決に導くプロセスの経験を積ませることで、地域の未来を切り開く高い志と能力を持った『人財』を育成する。本校では平成26年度より1年次生全員に年間を通じた地域理解のための探究型学習「地域理解プログラム」を行っている。「地域理解プログラム」の実施により、教職員側の意識も変化し、生徒が地域連携に関わり、課題解決能力の伸長に向けた素地はできている。これを土台にした「地域理解発展研究」(2年次)、「発表実践」(3年次)を開設し、3年間を通じた探究型学習を体系的に行う。

A-a 地域理解プログラム

1年次生全員が履修。探究型学習の基礎となるトレーニングを積んだ後に、地域課題について課題研究・プレゼンテーションを実施する。

A-b 「ジモト大学」プロジェクト

1年次の生徒が全員受講。コンソーシアムの構成員である県や地域の市町村が高校生が地域課題を体験できる講座を提供。

A-c 地域理解発展研究

2年次で履修。1年次の「地域理解プログラム」を土台に、より実際の地域社会における課題解決に近い形での探究型学習を行う。生徒が個々にテーマ設定し、外部での調査・連携を主体とすることで、地域と生徒がより密に関わる。